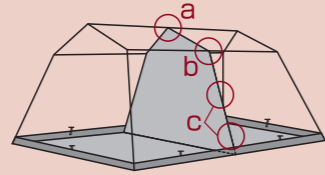
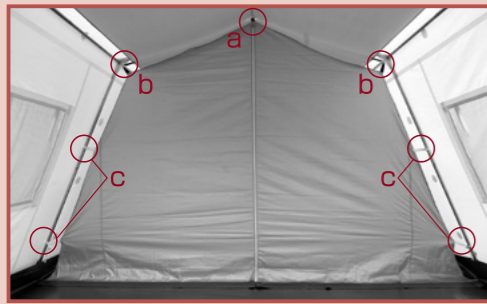


9 仕切り幕を取付けます



はじめに仕切り幕頂上部のSフックを棟中央天井部のフレームのジョイントの穴に引っ掛けます。①次に左右の軒のジョイントの穴にSフックを引っ掛けます。②その後は仕切り幕側面のテープを脚フレームに結んで固定してください。③その時、左右のバランスをテープで調整しながら固定してください。

10 テントを固定します



まず、ファスナーがすべて閉じられているか確認してください。テント四隅の脚フレームを外側に引っ張り、シワやたるみがないようにあらかじめテントの形をきれいに整えます。次に6本の脚フレーム(四隅と側面中央部2カ所)の「裾止めテープ」をピン大で固定します。そしてテントをきれいに整えてから調節用テープでテンションを掛けて残りの「裾テープ」をピン小で固定します。

Check Point

テントをきれいに張るコツ

四隅の裾止めテープを固定する前に、フレームを幕体の角ラインに合わせ、テントの歪みがないように側面や対角線上で外側に引っ張って固定するときれいに張ることができます。

裾テープを固定する時の注意

あらかじめピンを打ち込む場所を決め、ピンを打ち込んでから裾テープを掛けるようにすると、裾テープを誤ってハンマーで打ち切ることがありません。



11 テントを補強します



張り綱でテントをしっかり固定し、補強します。幕体肩部6カ所の丸カンに張り綱を通し、プラベグで固定します。固定が終えてから自在で張り具合を調節します。



出入口の張り出し
前・後面共に出入口を装備



前面を巻き上げた状態



全面を閉じた状態



メッシュ付き窓
フラップを巻上げた状態



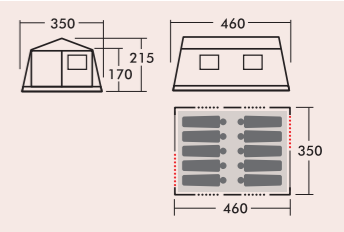
取扱説明書

保管用



7734 避難生活用ロジテント

- ◆ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ◆本製品に付いている警告ラベルをはがさないでください。万一とれてしまった場合は、必ず同じ場所に付け直してください。



組立完成



安全上のご注意

ご使用になる前に良く読み、必ず一度たててみてください。
▲記号は警告・注意の内容であることを表します。

警告

誤った取扱いをした時に、死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組みたててください。

取扱説明書通りにフレーム・幕・付属品がセットされているかを確認し、必ず一度組みたててください。まれに縫製上の不備やセットミスなどにより、テントがたてられない場合があります。テントを収納する時は、フレーム、張り綱、ベグ、ピンなどのパーツの数量を確認してください。

テント内では換気に十分注意し、時々換気を行ってください。

ベンチレーター、入口、窓を閉じて、多人数で長時間テント内に滞在すると酸欠により身体に支障を来すことになります。ベンチレーター、入口、窓等を有効に活用し、換気を行ってください。また、テント内での喫煙や火気の使用はおやめください。

テントの中やテントの近くでは、絶対に火気を使用しないでください。

- テントの生地は防炎加工を施していますが、熱によりとけたり、ヤケドの原因になります。
- テント内部の照明は、バッテリー式のランタンや懐中電灯を使用してください。

「取扱説明書」をお読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

ここには安全上に関する重大な注意事項を示しています。製品を安全に正しくご使用頂き、危害や損害を未然に防止するために、必ず守ってください。

注意

誤った取扱いをした時に、人が傷害を負ったり物的損害の可能性のある内容を示しています。

テントは必ず2人以上で組みたててください。

1人で組みたてますと、テント生地やフレームに無理な力がかかりやすく、テントが破損する場合があります。

就寝時や強風時、雨天時には、ファスナーの開口部を閉じてください。

夜間、急に天候が変わることがあります。そのため、強風でテントが飛ばされたり、雨水が張り出しに溜まってテントがつぶれる危険があります。

テントは必ず固定してください。

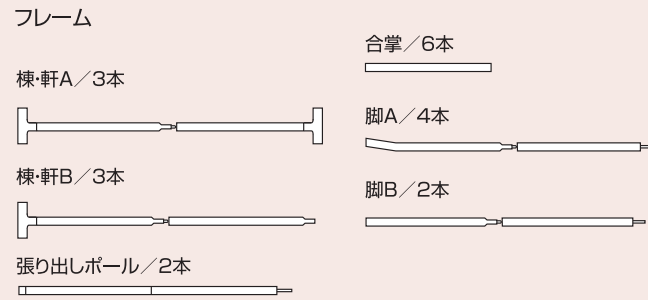
- 風でテントが飛ばされたり、屋根部に雨水が溜まってテントがつぶれる危険があります。テントが吹き飛ばされた場合には、人や車、他のテントなどに当たって大きな損害になる可能性があります。
- ベグは全数きちんと打ってください。また、補強用張り綱は全数きちんと張ってください。撤収時には、必ずベグを全数抜き取り、数量をチェックしてください。
- テントは、ベグで固定する前、またはベグを抜いた時、急な突風で飛ばされることがあります。テントが飛ばされぬよう、手を放さないでください。ベグを打つ前に補強用の張り綱をあらかじめ仮止めしてください。また、撤収時ならば、最後に補強用張り綱を抜けば飛ばされません。

台風や落雷の時には、管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。

悪天候の時には、テント内は安全な場所ではありません。台風などの強風が吹いている場合には、テントをどんなにしっかりと固定しても、つぶれたり吹き飛ばされたりする可能性があります。また、テントに落雷する可能性も危険です。

避難生活用ロジテント／組み立て方法

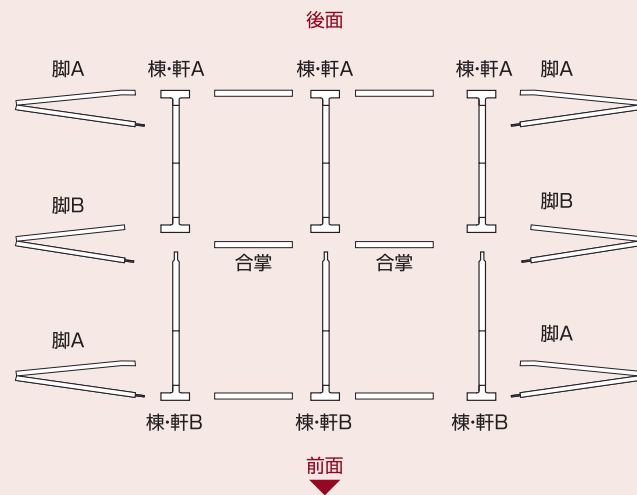
1 パーツを確認します



ピン大 6本 (脚部固定用)	ブラベグ 8本 (ロープ固定用)	ピン小 10本 (裾固定用)
ロープ 6本 (金属自在付き:張り綱用)	ロープ 2本 (プラスチック自在付き:張り出し部固定用)	ハンマー 1本

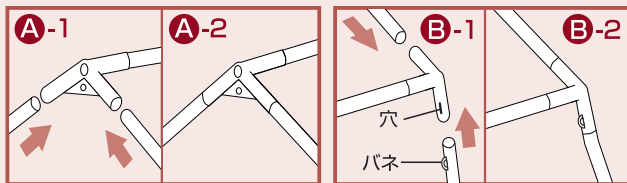
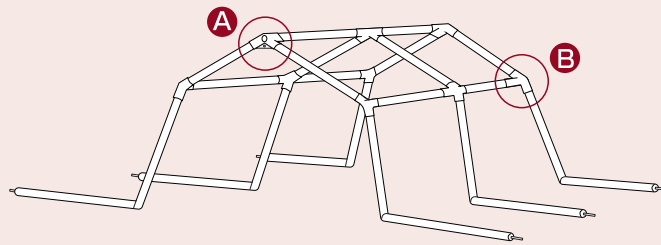
幕体と上記のパーツがセットされているか確認します。

2 フレームを配置します



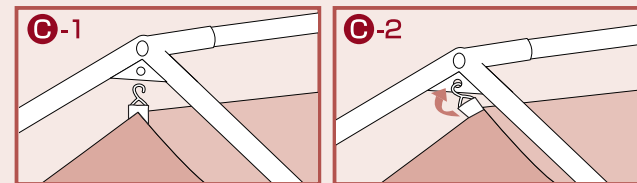
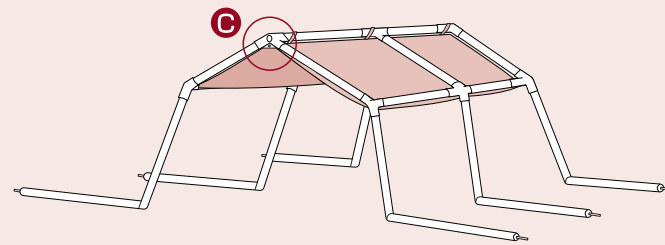
テントサイトを選び整地します。イラストを参考に、フレームを地面に配置してください。

3 フレームを組立てます



はじめに「屋根部のフレーム」から組立てます。**A**棟・軒Aと棟・軒Bを接続し、次にそれぞれ合掌でつなぎます。合掌のバネをジョイントの穴にカチッと音がするまで、しっかりと差し込んでください。**B**次は「脚フレーム」を片側から順に差し込みます。脚フレームをジョイントにしっかり差し込みます。この時、幕体をかぶせやすいように脚フレームは折り曲げた状態にしておきます。

4 ライナーシートを取付けます



ライナーシートのSフックをフレーム(プラスチックのジョイント)の穴に固定します。**C**はじめに屋根の中央部からライナーシートを取付けます。次に側面部分を固定します。

5 幕体をかぶせます



幕体の正面と側面を確認し、フレームの上からかぶせます。屋根部の肩部分にあたる四隅の角とフレームの角をキッチリと合わせ、シワやたるみがないようにきれいに整えます。

Check Point

幕体のかぶせ方のコツ

幕体をかぶせる時、幕体側面の両端を持ち、風上に向かって風をはらますようにするとラクにかぶせられます。この時、二人で掛け声を合わせて一気にかぶせましょう。

6 テントを立ち上げます



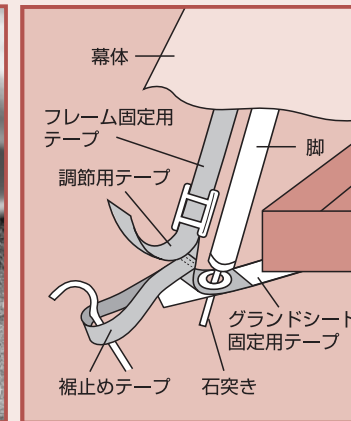
折り曲げておいた脚フレームを伸ばしてつなぎ、立ち上げます。まず、片側側面の脚フレームをつなぎ、次に反対側の側面も同じ要領で立ち上げます。その後、脚フレームが幕体の縫い目と合うように脚フレームの位置を調整してください。

Check Point

脚フレームの土や泥を払う

脚フレームをつなぐ際は、フレームに付いた土や泥をきれいに払います。また幕体を挟まないようにしてください。

7 幕体とグランドシートをフレームに仮固定します



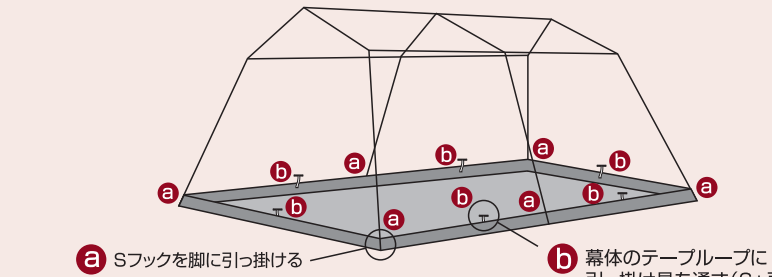
テント内部にグランドシートと仕切り幕を取付けるために、あらかじめ幕体とグランドシートをフレームに仮固定しておきます。まず、幕体の裾部の6カ所に付いている「フレーム固定用テープのハトメ」に、脚フレーム下端の石突きを差し込み、仮に固定します。次にグランドシートを広げ四隅と中間の6カ所のグランドシート固定用テープのハトメに脚フレーム下端の石突きを差し込みます。

Check Point

フレーム固定用のテープは長さ調節が可能

テープを長めにしておいて、フレームを差し込み、前後左右のバランスを見ながら調節してください。

8 グランドシートを取付けます



7で仮固定したグランドシートを本固定します。グランドシートのたちあがり部のSフック6カ所をそれぞれの脚の穴に引っ掛けて固定します。**a**

その後、幕体下部の裾近くにあるテーブループに引っ掛け具を通し、固定してください。**b**

幕体の裾部とグランドシートの上部がきれいに密着し、グランドシートが立ち上がるように調整します。また、シワやたるみがないように整えてください。